

■ 2016 (H28) 年度 年報



2017 (H29) 年 3月

公益財団法人群馬県産業支援機構上海代表処
(群馬県上海事務所)

■ 活動状況

群馬県では、平成24年3月に「東アジアの活力を取り込むための経済戦略」として群馬県国際戦略を策定、「観光誘客の促進」「農畜産物等の販路拡大」「企業のビジネス展開支援」を三本柱として、積極的に施策を展開してきた。

そして、国内外の情勢変化を踏まえつつ、新たな施策によって本県経済を活性化するための指針として、平成28年3月、第2次国際戦略を策定した。

この国際戦略の下、当上海事務所は中華人民共和国(香港・マカオを含む)を主な担当区域としてスタートし、平成26年度からは台湾も必要に応じて観光プロモーションや旅行会社訪問、物産展出展や商談会などに関わっている。

主な業務としては、中国各地域に向けて群馬県の観光、県内産品、県内企業活動、その他本県に関する各種情報を発信することにより、成長著しい中国市場において本県経済の地位を高めることを狙いとしている。ただし、本県産の農畜産物及び加工食品については、いまだに中国本土(香港・マカオを除く)においては福島原発事故以来の輸入禁止が継続されているため、情報提供や意見交換等の輸入規制解除後に向けた準備的な業務内容になっている。

1 事務所利用状況

内 容	件 数	備 考
訪問件数	210	旅行会社、流通業者、県内企業 他
来所件数 (人数)	218 (1, 124)	県内企業、業務関連 他

訪問先は、本県の宣伝活動や情報収集のために旅行会社や貿易関係者、流通関係者、PR事業者など。情報交換や最新の中国での活動状況を知るために県内企業など。

来所者は具体的な業務における打合せ、業務関連事業者との意見交換など。本県関係者として県内企業関係者のほか大学関係者および留学生、県人会会員、業務出張者など。人脈作りの一環として各種セミナーや交流会へも積極的に参加。

2 業務別の状況

(1) 観光誘客の推進

(1)－1 現状

中国からの2016年の訪日外客数は前年から127%増と大幅に増加し過去最高を記録。昨年に引き続き最大訪日旅行市場となった。

【中国人訪日外客数(ビジネス客/親族訪問客等含む)】 (JNTO) (人)

	2016	2015	2014	2013	2012	2011
年計	6,372,948	4,993,689	2,409,158	1,314,437	1,425,100	1,043,246

【群馬県への中国人宿泊者数】

(観光庁 宿泊旅行統計) (人)

	2016 (速報値)	2015	2014	2013	2012	2011
年計	22,540	15,660	8,730	13,540	6,610	5,550

日本政府観光局(JNTO)の集計によると、2016年の訪日外客数は前年比21.8%増の2,403万9千人で、JNTO が統計を取り始めた1964年以降、最多の訪日者数となった。クルーズ船寄港数の増加や航空路線の拡充、これまでの継続的な訪日旅行プロモーションに加え、ビザ発給要件の緩和、消費税免税制度の拡充等が、主な増加要因として考えられる。

市場別では、主要20 市場のうち、ロシアを除く19 市場が年間での過去最高を記録した。中でも中国は前年比27.6%増の637万人と全市場で初の600 万人台に達し、昨年に引き続き最大訪日旅行市場となった。加えて、韓国が初めて500 万人を、台湾が初めて400 万人を超え、香港を加えた東アジア4 市場は、前年比23.1%増の1,700 万人超となった。

中国を国内の市場別に見ると、上海にあっては個人旅行が半数を超えるなど成熟した市場に変化してきた一方、地方では東京～大阪ルート、北海道ルート、沖縄ルート、九州ルートなどの団体客がいまだに多い傾向にある。

本県は、主要な団体ルートから外れていることや日本一の草津温泉でさえ中国人に対する知名度がまだ低いこと、更に中国人の個人旅行者にとっては、レンタカーが使用できないこと、公共交通が分かりにくいことなど、インバウンド受入に向けた情報不足やインフラの未整備が大きな足かせになっている。

○ 活動の重点方針

2016年度は、引き続き、群馬の知名度を上げるためにあらゆる機会を捉えて宣伝活動を行うこととした。また、ゆるキャラ日本一の「ぐんまちゃん(中国名;群馬宝)」を積極的に活用したPR活動やイベント参加等、「温泉王国群馬」が印象に残るような効果的なPR方法に重点を置いた。

具体的には、①東京を中心とした滞在型個人旅行者(リピーター客)であって中間層以上のある程度資金に余裕のある層や日本旅行が好きな20～30代の女性層をターゲットとする。②上海・北京・広州等沿海部の海外旅行者が多い地域を重点地域としてPRする。③PRにあたっては日本を代表する草津温泉、近さと独特の景観で伊香保温泉、アクセスの良さと体験型観光の水上温泉など、まずは温泉県のイメージをつかめるよう「温泉王国」を前面に出した上で、群馬全体の魅力を説明した。加えて世界遺産、アウトドア、グルメなどの情報をきめ細かに提供するように努めた。

また、日本一のゆるキャラ「ぐんまちゃん」を前面に押し出し、各種イベントへの参加、微信のスタンプ作成、本県関連企業の販促活動支援、日系旅行社との連携などに力を入れ、「ぐんまちゃん→群馬→温泉」を印象づけるよう努めた。

(1)－2 個別的な業務内容

① 旅行会社との商談・個別訪問

個人所得の高い地域で行われる商談会参加、有力旅行社訪問などにより、本県観光を直接PRした。

- ・華東地域（上海市、蘇州市）
- ・華北地域（北京市、大連市）
- ・華南地域（広東省広州市、香港）
- ・台湾（台北、台中、台南、高雄）

② 観光イベント等への出展

各種観光イベントや企業展示商談会等の広報ブースなどに出展し、観光や物産を宣伝した。

- ・「Enjoy Nippon! 北京」（在中国日本大使館）
- ・「高雄市国際旅行展」（台湾高雄市）
- ・「上海国際旅遊博覧会2016」（上海展覽センター）
- ・「香港国際旅行展示会」（香港：観光物産課応援）
- ・「Visit Japan Salon 上海」（上海国際貿易センター）
- ・「Japanエキスポ IN 武漢」（イオンモール武漢）
- ・上海高島屋「ハロウィン祭」
- ・「広州国際旅遊展覧会」（広州市：北関東連携）
- ・「台北国際旅行博」（台湾台北市：観光物産課応援）
- ・「中国国際旅遊交易会2016」（上海新国際博覧センター）
- ・「高雄市冬期国際旅行展」（高雄市：北関東連携）
- ・在上海総領事館地方文化イベント
- ・「中国（深圳）国際旅遊博覧会」（北関東連携）
- ・「JTBジャパンプランド」（蘇州市・大連市）

③ 「ぐんまちゃんお誕生日会」開催

上海高島屋と共同して、上海で初めての「ぐんまちゃんのお誕生日会」を開催し、メディア各社の取材も受けた。

④ 「動く！ぐんまちゃんスタンプ」作成

中国版LINEである「微信」の当事務所アカウントのフォロワー拡大対策の一貫として、「動く！ぐんまちゃんスタンプ」を作成、配信、この成果によってフォロワーが大幅に拡大した。

⑤ インターネットの活用

中国人は情報収集には必ずスマホなどを使ってインターネットを活用するため、ネットでの情報提供を積極的に行った。

- ・事務所ウェブサイトでの本県観光情報提供
- ・微博（ウェイボ）、微信（ウェイシン）など中国特有のツールを活用
- ・上海Visit Japan推進会が運営する「日本轻奢游（JQSY）」による情報発信

内 容	件 数	備 考
事業所等訪問件数	43	
〃 来所件数	82	
観光展等出展件数	20	※ジェットロ等出展スペース内自治体ブースでの観光宣伝も含む
ツアー造成件数	30	継続商品は月ごとのカウント含む



「中国国際旅遊交易会2016」（上海市）

(1)－3 今後に向けた課題と方策

① ツアー造成について

- ・当事務所が、働きかけた結果で造成につながったものは延べ30件であった。JAL 中国と連携した逸行の旅行商品「東日本旅行」では約150人を送客できた。
- ・個人旅行が中心の香港、台湾については短期間での東京－群馬の温泉等個人向けパッケージ商品がすでに多くできている。上海も本年は個人旅行が半数を超えたことから、今後は中国旅行会社による個人向けパッケージ商品の造成促進に努めたい。

② 2017年度に向けた考え方

- ・本県観光地の特性から、格安団体ツアーの誘客よりも今後有望な個人旅行客の獲得が重要である。客単価も高く懸念されるマナーも問題が少ない。
- ・日本一の温泉王国と「ぐんまちゃん」を前面に打ち出しつつ、すき焼きやフルーツなどの美食、世界遺産「富岡製糸場」、大自然、ゴルフなど、群馬らしい商品造成へのアプローチを行う。
- ・上海で最大の旅行博である「上海国際旅遊博覧会（SWTF）」に、関東地域の在中國事務所と連携しながら、引き続き出展する。

- ・ 中国の旅行会社への対策としては、日本語であっても詳細な旅行関係雑誌の提供、受入可能な旅館ホテル・ゴルフ場などの個別情報、群馬の観光パンフレットの提供など、地道に群馬県の魅力と具体的な情報をきめ細かく伝えることとする。
- ・ 今後、北京オリンピックに向けてスキーブームが盛り上がりつつあるので、「週末スキーは、東京から近い群馬！」を売り込み、送客やツアー造成を推進したい。
- ・ 市民向けには、ぐんまちゃん、ウェブやメディアを活用するなどして楽しく広く知名度を上げる取り組みを更に強化する。

(2) ビジネス支援・販路拡大関係

(2)－1 概略

① 中国の高級品市場について

中国では、急速に増加する富裕層や中間層が、自家用車やマンションを所有し、海外旅行へも気軽に行き、高級レストランで食事するなど、高品質の物やサービスを選択している。

日本の工芸品等はこれらの層が多く購入し、一部ではバブル崩壊を懸念する声もあるものの、当分の間は中国人マーケットは継続して拡大するものと考えられる。

「本物」、「健康」、「安全」などが中国社会のキーワードと言えるが、中国人の感性に訴えるとともに所有欲を満たし面子も保てるものが有効である。最近では鉄瓶や九谷焼をはじめとする日本の工芸品がよく売れている。また、訪日客が拡大する中で、化粧品、日常薬品などの美容や健康に関連する日用商品も人気であった。

上海市内で高級な日本産品販売に力を入れている日系デパートや小売事業者があり、本県事業者の製品も3商品取り扱われている。

② 製造業の販路開拓について

本県製造業はほとんどが部品や素材であるため、中国進出に際してはあらかじめ主要取引先が決まっている場合が多いが、進出後新たに販路開拓をする例も多く見られる。この場合、価格と品質などの点から完全なローカル企業ではなく、日系を含む外資系企業の現地法人向けが主力となっている。

その中で今年度は、高級文具、布団製造業者、ぐんまちゃんグッズなど、新しい産品の商談が始まり、今後の展開に期待している。

また、重金属対策の堆肥製造では、中国企業と群馬大学が技術提携をして順調に実績を積み始めている。今後も、県内大学を核として産官学の連携を強め、東アジア進出を戦略的に検討する必要があるだろう。

③ 食品加工業について

日本における加工食品企業の高い技術を嚮望する中国企業が多く、ライセンス契約を含め、合併企業による進出もできる可能性はある。

南京に県内製麺工場、青島に漬物業、大連にこんにやく加工の県関連企業の工場があり、各社が協力しながら商談や販売促進を重ねており、輸入規制が解除になった時には、このネットワークを活かした販路拡大が可能である。



【大連荒船食品有限公司(アイエー・フーズ)】

【企業のビジネス展開支援】

内 容	件 数	備 考
事業所等訪問件数	5 1	県内進出企業、県内企業、関連企業
〃 来所件数	5 2	
相談・情報提供件数		
県等からの案件	1 1	
企業からの直接案件	2 8	
商談件数		
県等からの案件	4	
企業からの直接案件	2 0	
取引に結びついた件数	5	

(2)－2 販路開拓支援

- ・ 県内企業関連製品の中国における販路拡大であるが、大きく分けて企業間取引（B to B）、消費者販売（B to C）に分類できる。中国での販路開拓支援については特に分けることなく案件があれば積極的に対応した。
- ・ 上海で開催された「ものづくり商談会」（9月）への出展に際し現地での調整や情報収集等での支援を行った。また、商談を含めた企業交流会が好評であった。
- ・ 群馬銀行（上海）と連携して、県産オリジナル高級万年筆の商談を行い、上海市内高級デパートや県関連企業との商談を行い一部取引に結びついた。
- ・ 桐生市の台湾台北で開催された「台北テキスタイル展」への出展を支援した。
- ・ みなかみ町の台湾台南市における「群馬県みなかみ町日本商品展」を支援した。

(2)－3 県内企業への訪問

華東地域や華南地域等、中国へ進出している県内企業を訪問し、中国でのビジネス活動の概要、課題等について意見交換した。

また、群馬銀行と共催で企業交流会を開催した。

(2)－4 今後に向けた課題と方策

①物産品

- ・ ネット販売、現地展示即売会、商談会、専門店 の棚貸しなど様々な手法がある。製造業に限らず、県内の卸売業、商社などにも中国進出のチャンスがあると考えられる。
- ・ 中国経済はいまだに7%近く成長しており、世界中でこれ以上の市場はない。このことを踏まえつつ、販売手法や法制度等適切な情報提供及び支援をしていく必要がある。

②課題

- ・ 以前のような進出支援から販路開拓支援に重点が変化している中で、当事務所の役割やスキルも時代の変化に合わせて柔軟に対応する必要がある。
- ・ マーケットとしての中国の魅力を県内事業者へどのように周知していくか。県庁関係各課、関係団体への情報提供に努めたい。



【台北テキスタイル展：桐生市】

(3) 県産品・農畜産物の輸出促進関係

- ・ (株)アイザックの県産原木輸出への側面支援をジェトロ上海と連携して行った。また、関連企業や輸入港の自民党群馬県連農政議連・林政議連、日本造園建設業協会群馬県支部が現地視察を支援した。
- ・ 中国では福島原発事故の影響で県産農畜産物の輸入禁止が継続されているため、ジェトロ上海が主催する「上海日系食品産業連絡協議会」において輸入規制解除に向

けた本県の取り組みを紹介した。

- ・高崎だるまの販路拡大に向け、上海高島屋に加えて、深圳中日経済文化交流促進会が運営する日本館での展示を開始した。
- ・群馬県シルク製品の販路拡大に向けて、蘇州シルク博覧会、製糸工場等の視察、県内企業の視察案内等を行った。
- ・人気が高まりつつある「ぐんまちゃんグッズ」の販路拡大に向けた商談を開始した。

【県産品の販路拡大】

内 容	件 数	備 考
事業所等訪問件数	47	貿易、小売等企業関係者
〃 来所件数	34	
物産展等出展	4	
商談件数	14	県内進出企業、県内企業
照会件数	6	
取引に結びついた件数	6	日系デパート等



【自民党群馬県連農政議連の上海視察】

3 主な展示商談会・各種イベント等への出展

県内産品販路開拓など、関連イベントに出展し群馬県産品等をPRした。

日付	項目	内容
2016. 5. 5	SIAL食品展	クリタ食品（南京）、青島新進
2016. 6. 18～19	Visit Japan Saion	上海市・上海国際貿易センター こんにやくスポンジ
2016. 6. 25～26	極楽湯	こんにやくスポンジ
2016. 7. 20～23	日中地域間交流セミナー	下仁田町・安康市
2016. 9. 25～27	ものづくり商談会	群馬銀行、県関連企業
2016. 9. 26	企業交流会	群馬銀行、県関連企業
2016. 10. 15～16	蘇州泉屋販売促進イベント	青島新進・ハウス食品
2016. 10. 17～20	台北テキスタイル展	桐生市
2016. 12. 16～18	群馬県みなかみ町日本商品展	みなかみ町

4 メディアやウェブを利用した群馬県PR、その他事項

(1) メディア対策

中国では日本のように記者クラブというものはないので直接アプローチするか、PR会社に依頼する方法をとる。また、一般的な新聞や旅行雑誌等への広告出稿と比較検討した中で利用している。

- ・ 中国人向け機関誌「微帆2月号」：群馬の温泉、ぐんまちゃんスタンプ
- ・ 在上海日本人向け雑誌「週刊Whenever」計12回：ぐんまちゃんスタンプ

(2) ウェブ対策

- ・ 中国は公共の場でのwifi環境整備が進み空港、駅、ショッピングモールや飲食店の多くで接続することが可能となっており、地域によっては路線バスやタクシー内においてもwifiが接続できる。国民のweb活用度も日本よりもかなり高い。
- ・ 媒体とすると、微博（ウェイボ）や微信（ウェイシン／ウイチャット）の利用者が多く、特に微信の利用者数は7億人を超え更に拡大中である。
- ・ このような事情を踏まえ、上海事務所では事務所webサイトだけでなく微博、微信を活用して定期的に情報を更新している。

- ・今年度から、上海Visit Japan推進会が運営する「日本轻奢游（JQSY）」に加入し、情報発信を強化した。

内 容	件 数	備 考
事務所ウェブサイト更新数	23	
微博更新数	434	
微信更新数	93	
ウェブサイトアクセス数	49,140	年間合計
微博ファン数	14,985	前年比+1,739
微信ファン数	2,115	前年比+1,259
その他情報発信回数	8	日本轻奢游（JQSY）
マスメディア等への露出回数	30	

(3) その他

- ① 来訪者や訪問先へ群馬県の観光パンフやマップ、ぐんまちゃんグッズ、訪問先に応じて「群馬のものづくり企業受発注サイト」パンフや伝統工芸品カタログ等を持参している。観光関係資料は特に相手先の中国人従業員の閲覧を依頼している。
- ② 一時帰国時、「グローバル講演会」（3月7日）にて中国事情や事務所業務内容の説明を行った。
- ③ 上毛新聞オピニオンにコラムを掲載（3回）

5 交流事業等

(1) 群馬県日中友好協会事業

群馬県日中交流協会と上海市対外友好協会等との交流事業に対する事前調整など、現地事務所として全面的に支援した。特に上海市閔行区の昌碩文化センターで開催された上海では初めてとなる「第2回上海市・群馬県書道交流展」を共催した。

- ・日中友好協会上海市訪問（3/25～3/28）
- ・第2回上海市・群馬県書道交流展開幕式（3/26）

(2) 群馬県人会をはじめ群馬に縁のある在住者／訪問客との関係構築

海外ぐんまサポーターズ委嘱。（上海市、香港）

(3) 台湾との経済協定

本県と経済協定を提携している台湾の高雄市、台中市、彰化県を訪問した。また、高雄市国際旅行展に出展した。

(4) 絹産業博物館との交流

杭州中国シルク博物館、蘇州市シルク博物館とリニューアル式典に参加するなど、両館との交流を促進。

(5) 県内市町村の交流支援

上海市嘉定区が希望している太田市との交流を支援。嘉定区国際青少年友好キャンプに太田市国際アカデミーの学生が初参加。また、下仁田町が参加した「日中地域間交流セミナー」の事前調整を支援。

(6) 県内大学の交流支援

群馬大学の上海インターンシップ、県立女子大の近代化遺産調査、東京福祉大学の介護技術交流等の交流事業を支援。

(7) 県議団の来海

自民党群馬県連農政議連（8月）、自民党群馬県連日中・林政議連（11月）が、上海を視察した。

■事務所概要

名 称 群馬県上海事務所

(登記上の正式名称：日本公益財団法人 群馬県産業支援機構上海代表処)

住 所 〒200336

上海市長寧区延安西路2201号 上海国際貿易中心2410室 67㎡

TEL+86-21-5290-6218 FAX+86-21-5290-6905

e-mail gunma.pref@gunmash.cn

職 員 3名(日本人2名、中国人1名)

所 長 土屋 真志

副所長 日野 晃伸

助 理 于 江娜 (Yu Jiang Na) ~11月

秘 書 李 茗豊 (Li Mingfeng) 12月~

